



平成 30 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 fonfun
代表者名 代表取締役社長 林 和之
(J A S D A Q ・ コード 2323)
問合せ先責任者 取締役経営管理部部長 八田 修三
電話 03-5365-1511

連結業績予想と実績値との差異および個別業績の前年実績との差異に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 15 日に公表しました平成 30 年 3 月期通期の連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、個別業績における前年実績値との差異についても併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異について
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	603	14	12	11	円 銭 4.09
実 績 値(B)	559	△19	△19	△24	△8.75
増減額 (B - A)	△44	△34	△31	△36	—
増減率 (%)	△7.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	592	△36	△26	△30	△10.84

【修正の理由】

平成30年3月期連結業績につきましては、SMS事業において人員増加による営業力強化を図り契約社数の大幅な増加を見込んでおりましたが、採用活動が計画通りに進まなかったこともあり、新規契約数目標を達成できず売上高が予想より大きく減少いたしました。

営業利益につきましては、売上高の減少分を補うため経費削減に努めましたが、削減策の一部は当期中への影響が限定的で、当初目標としていた利益額以上の利益の減少となり、営業損失となってしまいました。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、営業利益と同様、売上高の減少にもなって利益が減少し、損失を計上することとなりました。

2. 平成30年3月期個別業績の前年実績との差異について
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績(A)	360	8	14	13	円 銭 4.79
当期実績(B)	291	2	2	1	0.53
増減額 (B－A)	△68	△6	△12	△12	－
増減率 (%)	△19.0	△74.2	△82.7	△89.0	－
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	360	8	14	13	4.79

【修正の理由】

平成30年3月期業績につきましては、前事業年度におけるスポットのシステム開発案件やリスティング広告代行等の案件がなくなったこと、リモートメール法人版において前事業年度末に大口案件の解約があったことより売上高が減少いたしました。

営業利益につきましては、売上高減少に伴う原価の減少の他、広告予算の効率化や経費抑制により減少額を抑え、利益を確保することができました。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益の減少にともない、減少しております。

以 上